

相談記録の書き方

～誰が読んでも支援が見える記録を目指して～

集合研修

費用無料

Point!

「簡潔に記録が書けない」「記録に時間がかかってしまう」「どこまで書けばよいかわからない」等、記録の書き方で悩んでいる人は多いのではないのでしょうか？

相談援助職にとって、記録は日々の業務の重要な位置づけとなります。

本研修では、記録の機能をはじめ、記録に必要とされる要素や用いるべき語句等を学ぶことで、限られた時間で的確な記録を残す具体的なスキルを身につけます。

漫然と悩んでいた記録の悩みを解消しましょう！

講師**八木 亜紀子 氏**

現在 アアリイ株式会社 代表取締役

福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター 特任准教授
(公財)21世紀職業財団 スーパーバイザー

学位 博士(医療福祉ジャーナリズム学)(国際医療福祉大学)
ソーシャルワーク学修士(ウイスコンシン大学)

資格 米国カリフォルニア州臨床ソーシャルワーカー／精神保健福祉士／公認心理師
国際EAP協会認定EAPプロフェッショナル

略歴 アメリカで日英両語で個人、家族、グループ療法、リーダーシップ養成トレーニング、コーチングを提供。
帰国後は、従業員支援、専門家養成、女性研究者支援、障害者の就労支援、東日本大震災による被災者支援に従事。

主な著書 「テキストマイニングによるソーシャルワーク記録の考察」中央法規出版(2024)
「精神障害・発達障害のある人が活躍する職場のつくりかた」中央法規出版(2021)
「事例で理解する相談援助のキーワード」中央法規出版(2019)
「相談援助職の記録の書き方」中央法規出版(2012)

他多数

日時**令和8年9月10日(木)14時～17時**

(当日は13:30より受付開始いたします)

場所**世田谷区立保健医療福祉総合プラザ1階 研修室C**
(世田谷区松原6-37-10)**対象**

- ① 世田谷区内でサービスを提供している
福祉サービス事業所(高齢・障害・児童など) に所属している
医療・福祉サービス事業所の職員
- ② 世田谷区職員など

定員**20名(先着順)****申込方法**

世田谷区福祉人材育成・研修センター



のホームページから研修・講座を

CLICK!

**【集合研修】「福祉・医療職の実践力アップ(共通)」より****9月7日(月)までお申込みすることができます。****注意事項**

※申込後、確認メールが届きます。メールが届かない場合はご連絡ください。

- ・研修および研修資料等(動画含む)について、録音・録画・複製・撮影等、また第三者への提供及びインターネット上での公開を一切禁止します。
- ・申込みいただいた個人情報は研修の目的以外には使用いたしません。

<研修センターではお仕事の悩み等の無料の相談を行っています。>

詳細はホームページをご覧ください。<https://www.setagaya-jinzai.jp/counseling>

この研修は、世田谷区の保健福祉サービス
従事者研修として認定し、参加実績を登録
します。
また、事業所単位で参加実績を公表します。

世田谷区保健福祉サービス従事者研修

世田谷区福祉人材育成・研修センター
公式X(エックス)

- ・研修のご案内
- ・イベントのご案内
- ・広報紙
- ・お知らせ 等

フォローしてください!
@SetagayaKenshuC

<担当>

世田谷区福祉人材育成・研修センター
谷・村木

電話: 6379-4280

FAX: 6379-4281